



通学路のいたるところで、秋を感じるようになってきましたね。

秋といえば、みなさんは何を連想しますか？

読書の秋、スポーツの秋、それとも食欲の秋

でしょうか？

図書館では、企画展示コーナーに、秋にちなんだいろいろな本を紹介しています。

紹介している本は貸出できます。借りたい

本は、カウンターまで持ってきてください。

ぜひ自分にぴったりの本を見つけに来て  
くださいね。



## 10月の図書目標：「図書のなかま分け（日本十進分類法）を知ろう」

みなさんは、4月に習った本のなかま分け（日本十進分類法に基づく分類）を

覚えていますか？ 図書館の本は、並べ方の決まりにそっ

て（ラベルに書かれている番号順に）並べられています。

図書館の入口に、分類についての説明が書かれた新聞

を掲示しています。

来月の読書月間では、ブック・ビンゴをします。ビンゴ

の紙に各分類の本を借りるようにお題が書かれています。

今のうちに、どの分類の本がどこにあるか、それぞれの分

類にはどんな本があるか確認しておきましょう。



## あなたのおすすめの本は何ですか？



最近、「なんかおもしろい本はありますか？」「おすすめの本はないですか？」という

質問をよく受けます。本を返しに来たときに、「おもしろかったです！ほかに何か

ありませんか？」と言われると、とてもうれしい気持ちになります。

みなさんも、自分が読んでおもしろかった本、感動した本など、

おすすめの本を紹介してみませんか？

図書館内に、おすすめの本を書く紙とポストを用意しています。

あなたのおすすめの本を書いて、ポストに入れてください。



## 家読（うちどく）ってなに？



毎週木曜日は、「立花つ子を育てる読書の日」です。「家読（うちどく）」の宿題が

でていると思いますが、そもそも「家読（うちどく）」とはなにか覚えていますか？

「家読（うちどく）」とは・・・**おうちの人と読書の時間をともにすること**



「家読（うちどく）」とは、「家庭読書」の略語で、家族で読書を通してコミュニケーションを図る（その習慣をつける）ことです。基本は家族みんな

で読書をし、読んだ本について話します。週に一度は、家族で

読書をする機会をつくりましょう。

おうちの人と本を読んだ時は、「読書の記録」の読んだ人の

ところに、いっしょに読んだ人も書いておいてください。（「わたしとおばあちゃん」など）

おうちの人が忙しくて、一人だけで読んだ場合は、「自分」だけで大丈夫です。本当

に読んだ人だけを書きましょう。弟や妹に読み聞かせをした場合は、

「ぼく（わたし）が弟（妹）に読んだ」と書いてくれるとうれしいです。

読書の秋をみんなで楽しみましょう。

